

証券コード：2902



— Imagine, Desire and Create —

株主・投資家の皆様へ

第107期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

トップメッセージ

当社は、経営理念であります「**世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献する**」研究開発型企業として、これからもグローバルな展開を目指してまいります。

そのため、当社グループは、**基本理念「好奇心 そして行動 (Imagine, Desire and Create)」**のもと、総力を結集し、新たな課題にも積極的にチャレンジしながら、進化を続けてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

Q 2023年9月期を振り返り 事業概況についてお聞かせください。

A 当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により景気持ち直しの動きが見られましたが、エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇が進むなど、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当社事業の主要分野であります食品業界におきましては、外食産業向け商品の需要は回復基調となりましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰は長期化しており、企業を取り巻く事業環境はより厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として、以下を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

- | | |
|---------------|----------------|
| ①市場変化への対応 | ②販売の強化（グローバル化） |
| ③品質管理体制の維持・強化 | ④環境への取り組み |
| ⑤人材育成 | ⑥業務改善による全体最適化 |

Q 2023年9月期の業績についてお聞かせください。

A 当第2四半期連結累計期間の売上高は、245億17百万円（前年同四半期比16.2%増）となりました。

営業利益は、24億64百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。

経常利益は、26億58百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

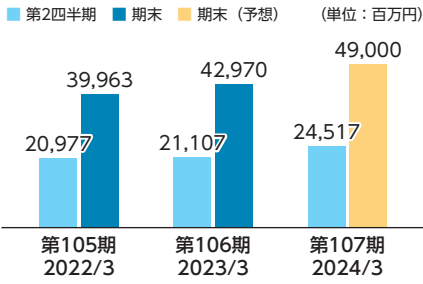
親会社株主に帰属する四半期純利益は、17億21百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

Q 中間配当金についてお聞かせください。

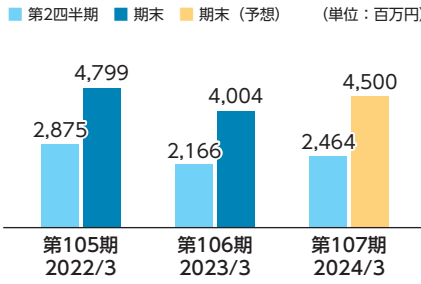
A 当社の中間配当金は、1株当たり10円として12月5日にお支払いさせていただきます。

決算ハイライト

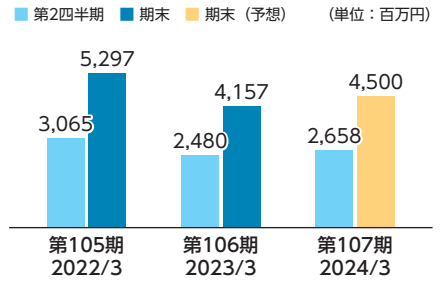
売上高



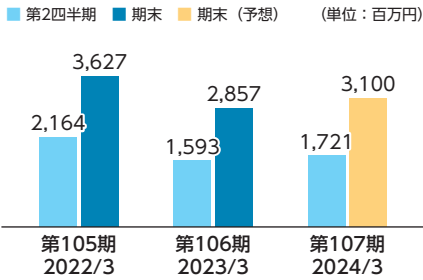
営業利益



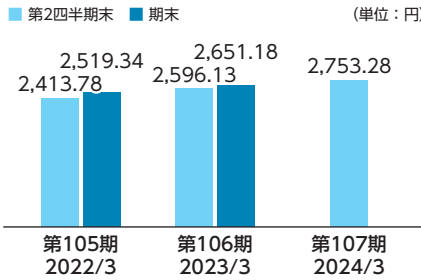
経常利益



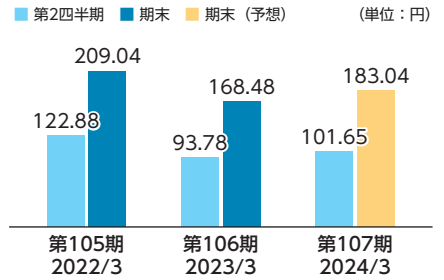
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり純資産<BPS>

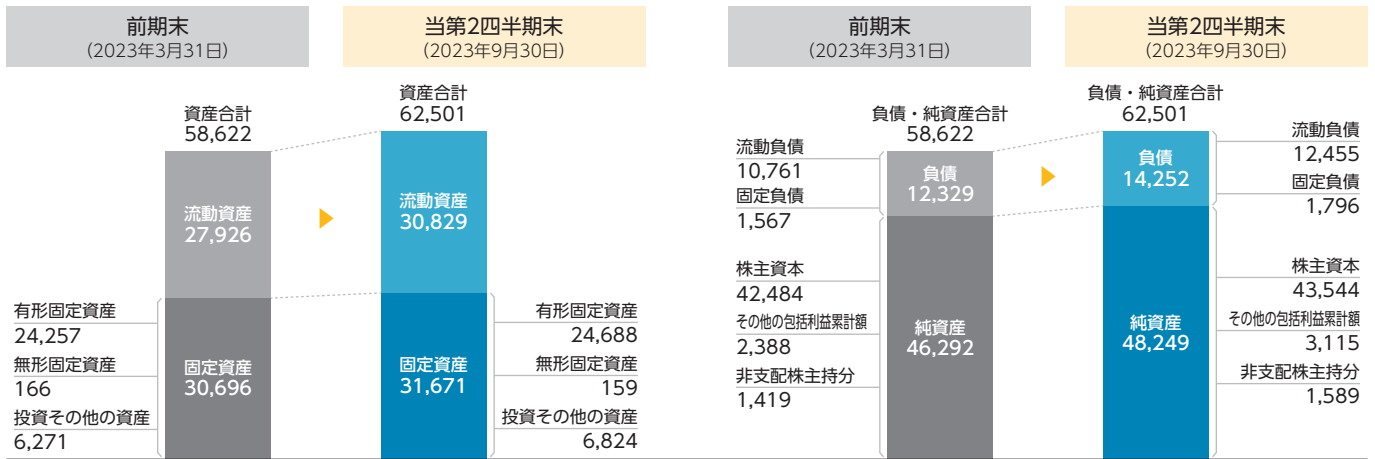


1株当たり四半期(当期)純利益<EPS>

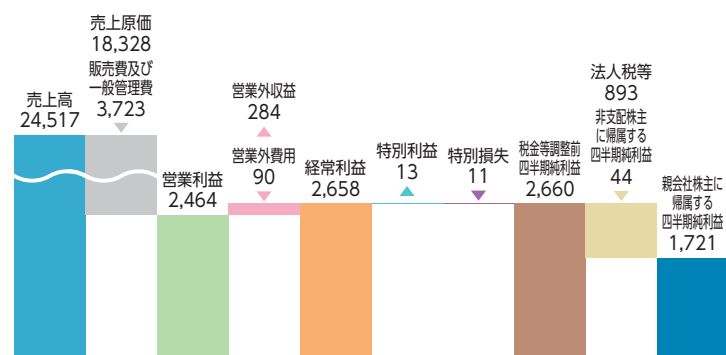


財務ハイライト

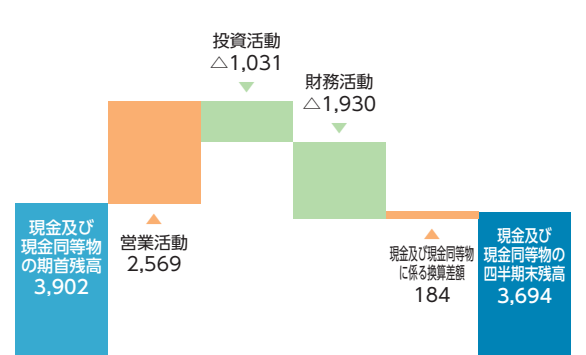
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

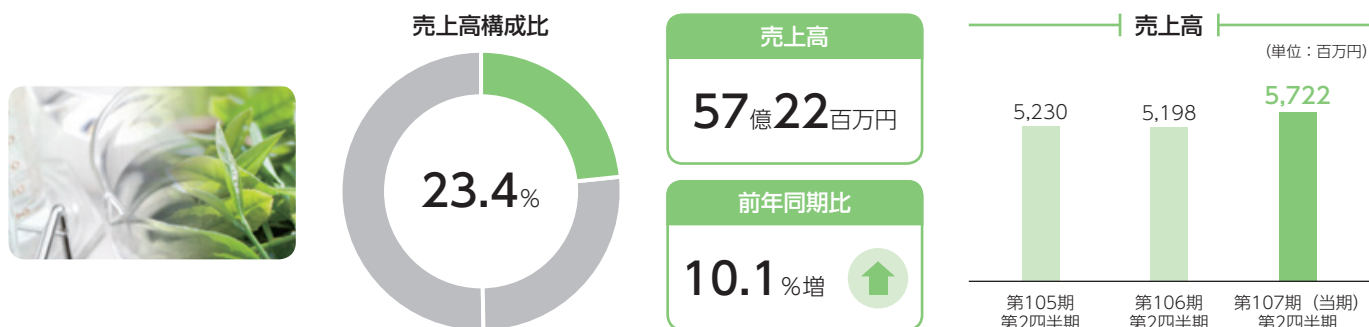


連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)

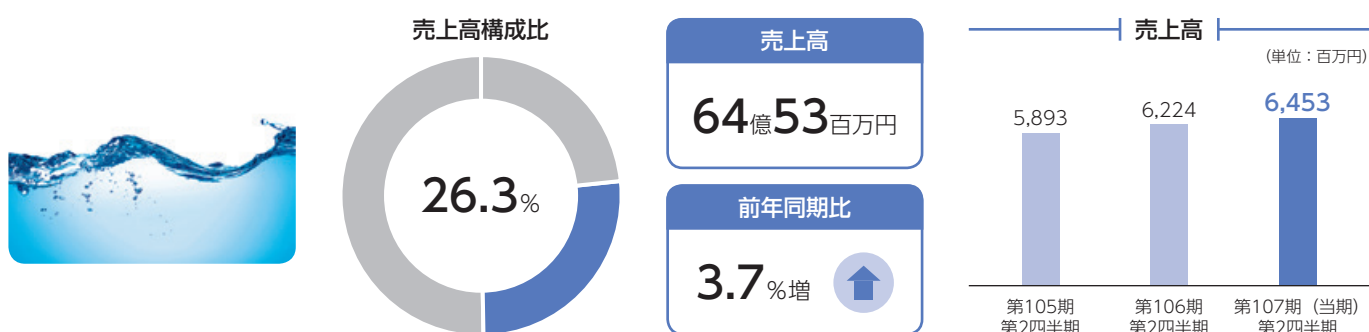


セグメントの状況

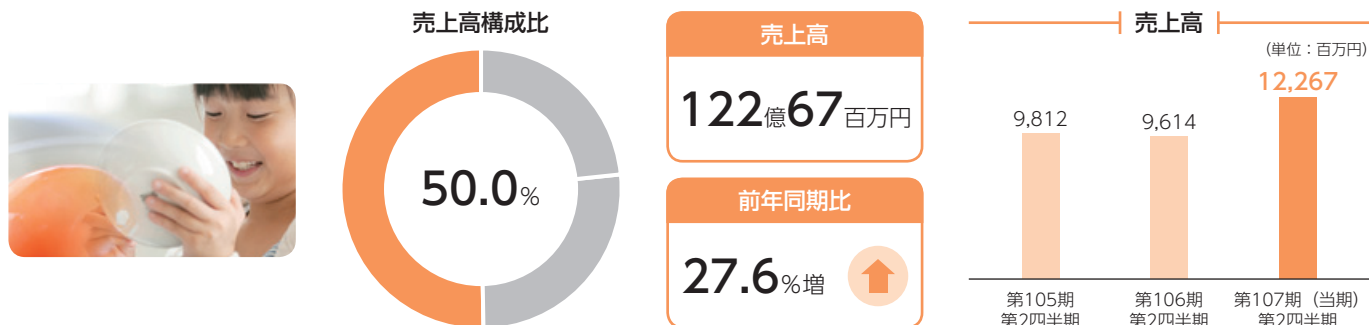
ニュートリション事業



インターフェイスソリューション事業



ナチュラルイングリディエント事業



その他事業

料理飲食等の事業を行っています。売上高は、73百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は、25百万円（前年同四半期比19.3%増）とな

トピックス

健康フォーラム Well-beingをかなえる腸の科学と時間栄養 開催

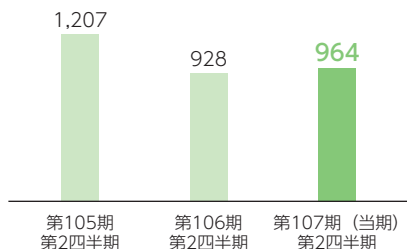


健康フォーラム会場

2023年6月28日、東京国際フォーラムにて124社、269名の参加者を集め、健康フォーラム（主催 太陽化学株式会社、共催 株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社ドットミー）が開催され、Well-beingの実現をテーマとした流通業界の取り組み紹介や、アカデミアによる学術講演などが行われました。これまでも当社主催の学術シンポジウムや研究会は開催してきましたが、食品企業だけでなく健康産業やヘルステック、流通、商社、広告メディアなどの異なる業界が一堂に会するイベントは初めての試みとなります。この活動を通じて、今まで当社とつながりのなかった企業や業界に対しても共創のあり方を提案するとともに当社のプレゼンス向上を図りました。

営業利益

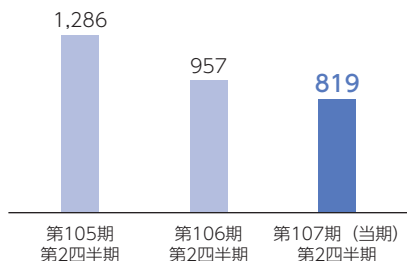
(単位：百万円)



医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。水溶性食物繊維は、国内市場は増加しましたが、アジア及び欧州市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。カテキンは、国内市場は増加しましたが、米国及び欧州市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。ミネラル製剤は、米国市場は減少しましたが、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。テアニンは、国内市場及び米国市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。この結果、売上高は、57億22百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は、9億64百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

営業利益

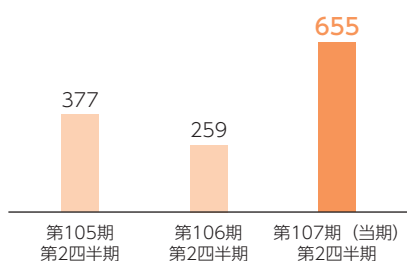
(単位：百万円)



乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。飲料用途及び一般食品用途は、国内市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。化粧品、トイレタリー用途は、国内市場は増加しましたが、海外市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。この結果、売上高は、64億53百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は、8億19百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

営業利益

(単位：百万円)



乳製品、飲料、菓子、パン、総菜、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。鶏卵加工品は、調味料用途等向けの液卵、国内市場のめん用途、調味料用途等の粉末卵が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。即席食品用素材は、海外向け用途が減少しましたが、国内向け即席めん用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。安定剤は、飲料用途が減少しましたが、デザート用途、冷菓用途及び惣菜用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。この結果、売上高は、122億67百万円（前年同四半期比27.6%増）、営業利益は、6億55百万円（前年同四半期比152.2%増）となりました。

りました。

IDT工場の竣工式

2023年6月5日、南部工場にてIDT工場の竣工式が行われました。

新工場は、延床面積2,380㎡、生産能力は年間約3,500tで、2023年11月より稼動しております。

IDT工場は、「Intelligent Design & Technology」をコンセプトとし、顆粒製品の最終パッケージ製品まで可能となる新造粒工場であり、自社素材のエビデンスを活用した企画提案に、当社独自の粉体加工技術を組み合わせることで、より多くのお客様の健康増進ニーズに応えることを目指します。

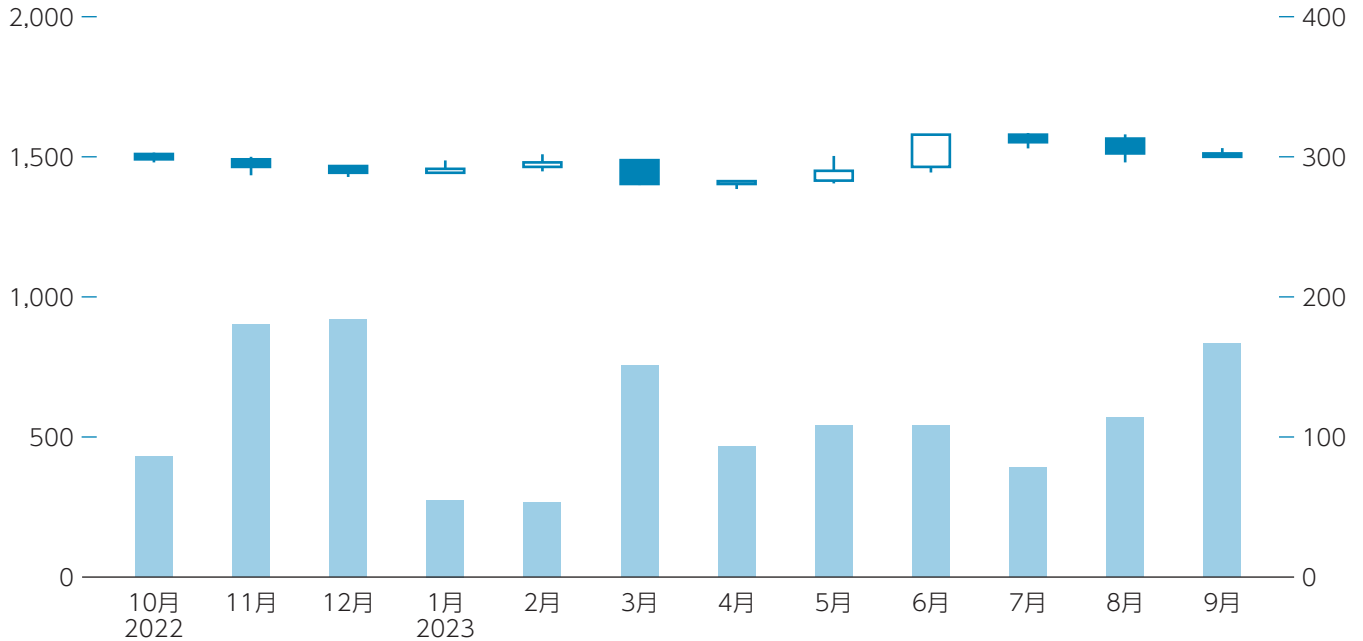


IDT工場

株価・出来高の推移

株価 (単位: 円)

出来高 (単位: 千株)



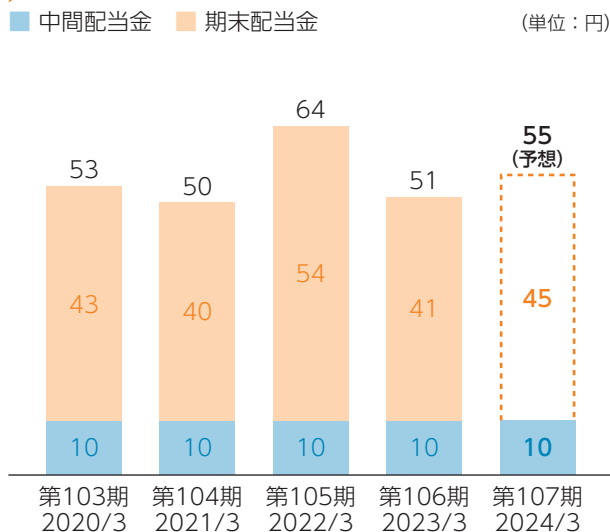
株主還元情報

剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最も重要な課題のひとつに位置づけております。

利益配分は、安定的な基準配当年間20円に、実績に応じた利益還元分を加え、連結による配当性向30%を目処として継続的に行うことと、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な将来に備えた内部留保の充実を図ることを基本方針としております。

1株当たり配当金額の5年間の推移



株主様へのご優待

～ 特別価格販売のご案内 ～

株主様の日頃のご支援にお応えすべく、当社グループ会社であります株式会社タイヨーラボのヘルスケア商品のご紹介、また、更にお求め易い特別価格に改定し販売させていただきますので、お引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



株式会社タイヨーラボ サプリメント商品の一例
 <水溶性食物繊維 サンファイバー>

株式会社タイヨーラボのホームページよりご購入いただけます。

<https://www.taiyo-labo.jp/>



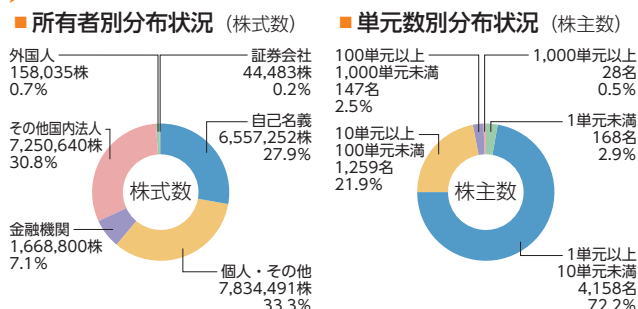
会社概要

会社名 太陽化学株式会社
 英訳名 TAIYO KAGAKU CO.,LTD.
 設立 1948年1月28日 (創立/1946年5月)
 資本金 7,730,621,500円
 従業員 904名 (この他臨時従業員163名) / 連結
 売上高 429億70百万円 / 連結
 本社所在地 四日市本社
 〒512-1111 三重県四日市市山田町800番
 東京本社
 〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目6番3号

株式の状況

発行可能株式総数 90,000,000株
 発行済株式総数 23,513,701株
 株主数 5,760名

分布状況



製造・販売事業

当社グループの事業は、食品用乳化剤、安定剤、各種鶏卵加工品、即席食品用素材、農産加工品、栄養機能食品、化粧品原料等の製造と販売を主たる目的としております。

大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
長陽物産有限会社	2,283,000	13.46
向陽興産株式会社	979,950	5.78
太陽化学取引先持株会	928,371	5.47
有限会社和向	760,000	4.48
一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC	516,400	3.04
株式会社三十三銀行	437,800	2.58
株式会社百五銀行	437,800	2.58
太陽化学従業員持株会	382,663	2.25
山崎長徳	287,272	1.69
新菱冷熱工業株式会社	275,800	1.62

※1 当社は、自己株式6,557,252株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
 ※2 持株比率は、自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主の皆さまの
 声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
 アクセスキー入力後に表示される
 アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 2902ei3r

スマートフォンから
 カメラ機能で
 QRコードを読み取り



QRコードは株式会社アンソウェア
 の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
 抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクスが提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ先「コエキク事務局」
 koekiku@pronexus.co.jp

株主メモ

株式の基本情報について、
 当社ホームページに掲載しております。
 アクセスしてご確認ください。



<https://www.taiyokagaku.com/ir/stock/>

ホームページのご案内

各種の最新情報や、詳しい製品情報は当社のホームページに掲載しております。また、CSRサイトから、CSRレポートもご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。

<https://www.taiyokagaku.com/>

